

照陽の家だより

〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
TEL 0859-21-8151

☆ 秋の火災避難訓練 ☆

9月26日に秋の火災避難訓練、水消火器を用いたの消火訓練を実施しました。今回は1階フロアのベッド近くのコンセントからの火災を想定し利用者様にも協力して頂きながら行いました。当日は秋晴れになり避難想定の外倉庫前までスムーズに避難することが出来ました。訓練後の皆さんからの反省点、良かったところなど振り返り次回の訓練に生かしていきたいと思えます。この度の水消火器を使用したの消火訓練では、職員だけではなく利用者様にも協力してもらい消火器の使用手順、詳細などを共有させていただきました。職員一同、訓練を通して今後も防災の意識を高めていきたいと思えます。

照陽の家 防災管理者 原 翔太



避難場所

水消火器を使用

令和6年度 第3回 運営推進会議開催 (9/20) しました。

今回は米子市長寿社会課ご担当者並びに米子市後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センターご担当者、また運営推進委員の永井様、本村様、米川様、友松様、石田様、吉村様の方々、照陽の職員3名の計11名で開催しました。市役所ご担当者様からは米子市の行方不明者が増大しているため高齢者徘徊事前登録制度の利用について紹介がありました。また、7月に義方地区の利用者様200人以上を引き継がれた米子市後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センターご担当者様は今後、義方公民館祭りや健康祭りにも積極的に参加する意向を話されました。思い出カフェの開催やYORAIYA角盤の利用推進など議題も多彩で充実した会議となりました。次回は11月15日(金)を予定しています。

10月6日(日)は米子市一斉清掃の日でしたが、照陽の家では10月5日(土)に職員で道路沿いのごみ拾いと花壇の草取りをしました。今年は異常な猛暑で夏の間の草取りが思うようにできませんでしたが、涼しくなった今、取り掛かることができ、ほっとしています。



☆10月の壁画制作は夜空に浮かぶ大きな月と紅葉を思い出話を交え表現しました☆



☆ 今月の身体介護技術研修 ☆ 車椅子からベッドへの移乗

今月はベッド～車椅子間の移乗について研修を行いました。ベッドに移乗する際、車椅子をつける角度、カテーテルやカニューレなどの有無、残存能力の把握など利用者様お一人お一人に注意する点が変わります。介助者が利用者様の残存能力を活かし、協力動作を得て「相手の動作を待つ」ということはそこに利用者主体の介護が生まれます。また介助者自身も無理をしないような理想的な介助を学んだり、新たな気付きもありました。残存機能は年月をかけて変化していき体調においては日によって違うこともあります。私達職員はその日のご利用者様の体調などを報連相によりしっかり把握して適切なお手伝い(ケア)ができるよう日々努力してまいります。



車椅子から立ち上がり



立位からベッドへ

照陽の家には訪問看護ステーションハートケアがあります。

訪問看護とは看護師がご自宅を訪問し看護ケアを提供し療養生活を支援するサービスです。



☆ 外出支援 ☆

毎年、恒例の淀江の彼岸花見物ですが今年は異常な猛暑のせいか花もまばらで少し残念。でも秋風の中、嬉しい外出でした。



☆ 今月の座学研修 ☆

介護現場におけるハラスメント対策研修

介護サービスも多様化し、様々な問題やニーズを抱えた高齢者、ご家族様が増える事が予想され、私たち介護従事者はそのニーズに応えることは重要な仕事のひとつです。しかしながら時には対応が困難とされるニーズもあり、ご利用者様、ご家族様の言動や過度な要求が職員にとって身体的・精神的負担となる『ハラスメント』として少なからず発生していることが様々な調査で明らかとなっているようです。ただし、ハラスメントの背景にはご利用者様やご家族様の置かれている環境やこれまでの生活歴、認知症や疾患を抱えており心身が不安定な方もおられることも留意する必要があります。また職員側も利用者様やご家族様に対してハラスメントとなるような言動をしていないか十分気を付ける事も必要です。ハラスメント対策は介護従事者を守るだけでなくご利用者様にとっても介護サービスの継続的で円滑な利用に繋がる重要な対策であることを研修を通して改めて学ぶことが出来ました。